



サイバーセキュリティ研修

コース名：セキュリティインシデント対応実践

標的型攻撃のセキュリティインシデントに対応できる「演習コース」！

近年、標的型攻撃による大規模な個人情報漏えい事故により、企業に大きな損害が発生し、社会に衝撃を与えております。このようなインシデントは突然発生し、早急な対応が求められます。しかし、一体何をどのようにすればいいかわからず、初動対応が遅れ、莫大な被害につながった事例も少なくありません。この場合、日ごろから訓練を行っていたり、対応のマニュアルが整備されているかどうか、会社への影響に大きく左右するといっても過言ではありません。この研修では、知っているか知らないかではインシデント対応に大きく差が付くような、攻撃をいち早く検知し、適切に対処するための対応力・判断力が身につく「演習コース」をご提供いたします。

研修スケジュール

時間	テーマ	担当
1日目 13:00～ 13:15～ 17:00	オリエンテーション 『ネットワークツール実践』 演習で必要となるツールの使い方について	事務局 北口 善明
2日目 9:00～ 17:00	『インシデント対応演習①』 2日間の演習プログラム	鈴木 裕信
3日目 9:00～ 16:30 ～17:00	『インシデント対応演習②』 オリエンテーション	鈴木 裕信 事務局



- ▼ 本コースは、すべてグループワークです。
- ▼ ここでは、組織内で実際に発生した標的型攻撃被害を参考に、擬似環境を構築しています。これを体験することで実践的なノウハウを学習して頂きます。
- ▼ 初日夕刻（15時30分頃）に、参加者による名刺交換会を開催予定です。参加者の皆さまはお名刺をご持参下さい。

日時

平成30年 **2月26日** (月)
～ **28日** (水)

※初日は12時50分受付開始

受講費

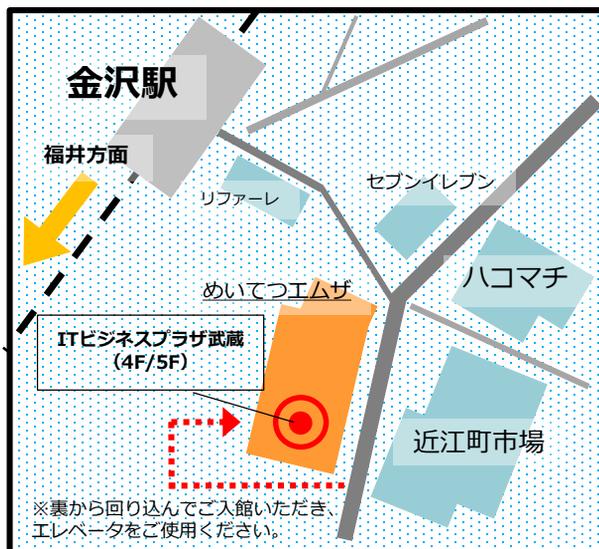
100,000円 (1人あたり/税別)

定員

先着 12名

場所

ITビジネスプラザ武蔵 情報化研修室
(住所 金沢市武蔵町14番 31号 5階)



対 象

- ▼ 中小規模ネットワークの運用管理者・担当者の方
- ▼ 標的型攻撃のセキュリティインシデントへの対応を学習したい方
- ▼ 社内上層部や外部関係者へのインシデント報告のあり方を知りたい方
- ▼ サイバーセキュリティに関してコミュニティを持ちたいと考えている方

講師紹介



東京工業大学

北口 善明

学術国際情報センター・准教授。専門はネットワークシステムの運用管理手法。博士（工学）。前職（金沢大学総合メディア基盤センター・助教）から継続的にキャンパスネットワーク運用の最適化およびIPv6におけるセキュリティ対策に従事しております。今回の研修では、豊富な経験を元にセキュリティインシデント対応時に必要な手法の説明をいたします。



ソフトウェアコンサルタント

鈴木 裕信

UNIXやネットワークのソフトウェア開発経験を活かし、現在、インターネット/ネットワーク関連システムや情報セキュリティのコンサルテーションを行っております。一般社団法人JPCERT/CC理事、NPO法人FSIJ事務局長、中央・専修・実践女子の各大学で非常勤講師としても活動中。近著「マジメだけどももしろいセキュリティ講義（技術評論社）」絶賛発売中

申込方法

以下のURLから、お申込み下さい。お申込み締め切りはコース開催日の1週間前です。

[お申込みページ] http://www.htnet.co.jp/workshop/index_test.html

※お申し込みの際の個人情報につきましては、十分注意の上取り扱うこととし、弊社からのセミナー案内や製品・サービス案内、その他のお知らせの送付以外の目的には使用いたしません。

お問い合わせ先

北陸通信ネットワーク株式会社 サイバーセキュリティ研修事務局（担当 酒井・村西）

TEL: 076-269-5621

e-mail: security-training@htnet.co.jp

主催 北陸通信ネットワーク株式会社
協力 国立大学法人 金沢大学
国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学
後援 一般社団法人 石川県情報システム工業会

(特記事項)



北陸通信ネットワーク株式会社